

ABHANN GARBH

- アビン・ガルヴ -

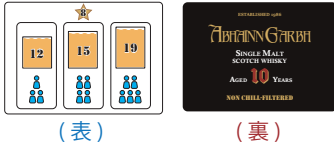
最高のウイスキーを作るにはどうしたらいいかって？
どの原酒も同じだけ混ぜちゃダメだ。
たったそれだけ。そうすりゃ自然と収まるもんだ！

時間 / 人数 / 対象年齢

10分 / 3～5人 / 8才以上

内容物

- Vat カード 10 枚



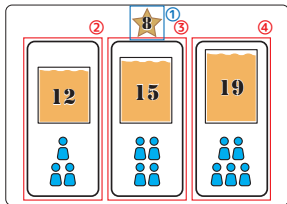
- 原酒カード 50 枚 (10 種 x 5 色)



- 説明書 1 部 (本紙)

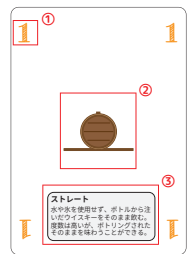
カードの説明

- Vat カード



- ① **勝利点**
→ 得点計算時に使用します。
- ② **容量 (3 人プレイ時)**
→ Vat の容量です。
あふれずに収まる原酒の量を表します。
- ③ **容量 (4 人プレイ時)**
- ④ **容量 (5 人プレイ時)**

- 原酒カード



- ① **酒量**
→ 原酒の量。1～9 の 9 段階あります。
- ② **熟成樽**
→ 酒量と同じ数の樽。
ゲームでは使用しません。
- ③ **用語説明**
→ ウイスキーなど関連用語の簡単な説明。
説明は原酒カードの枚数分 (50 種類) です。
ゲームでは使用しません。

- 原酒カード (フィニッシュウッドカード)

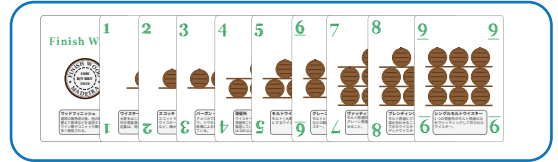


- ① **カード名**
→ フィニッシュウッドであることを表します。
酒量 0 の特殊なカードです。
- ② **化粧板**
→ 樽の上部に貼る板です。
ゲームでは使用しません。

I. ゲームの準備

1. 手札の配布

各プレイヤーに原酒カードを 1 組 (10 枚) ずつ配り、手札とします。残った原酒カードは使いませんので、箱にしまってください。



2. 山札の作成

Vat カードを 10 枚すべて裏向きで混ぜ、1 枚だけ裏向きのまま箱にしまえます。

残った 9 枚のカードを山札として、テーブル中央に配置します。

II. ゲームの流れ

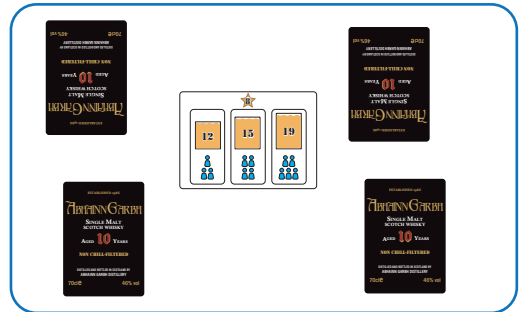
1. Vat の公開

山札の一番上を公開します。



2. 原酒カードのプレイ

各プレイヤーは、手札から 1 枚を選び、裏向きで自分の前に置きます。



3. 勝敗の決定

裏向きで置かれたカードを公開し、勝敗を決定します。

勝者は Vat を獲得し、残ったカードはそれぞれ出したプレイヤーが獲得します。

具体的な内容は、裏面の「III. 勝敗と獲得」をお読みください。

4. ラウンドの終了

1～3 をラウンドと言います。

ラウンド終了時に山札が無いとき、「5. セットの終了」へ進みます。

そうでないなら、「1. Vat の公開」に戻り、次のラウンドを開始します。

5. セットの終了

ここまでをセットと言います。

「IV. 勝利点の計算」を行い、プレイヤーごとに記録します。

これが 2 セット目ならば、「V. ゲームの終了」へ進みます。

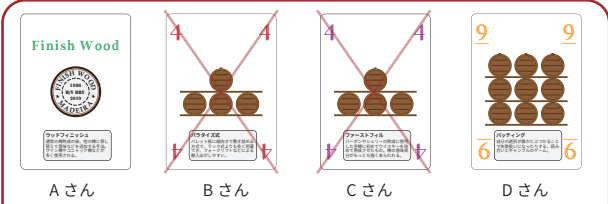
そうでないなら、「I. ゲームの準備」へ戻り、次のセットを開始します。

➡ 裏面へ

Ⅲ. 勝敗と獲得

1. バッティングの判定

バッティングしたもの(同じカード)はすべて裏向きで捨て札にします。



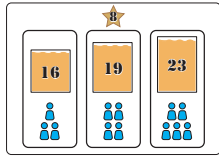
① 2人以上が**同じカード**を出した場合、すべて**捨て札**にします。
BさんとCさんはお互いに4を出したため、どちらの4も捨て札になります。
捨て札は、山札のそばに裏向きで置きます。

2. ラウンド勝者の決定

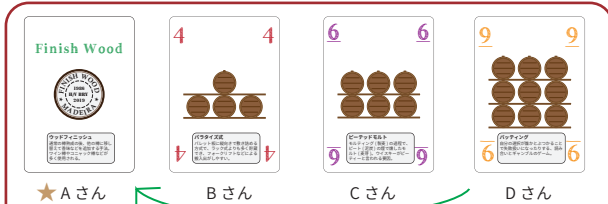
残った原酒カードの数字を合計し、Vatの容量と比べます。

以下では、次のことを例に説明します。

- ・プレイヤーは4人
- ・Vatの容量は19



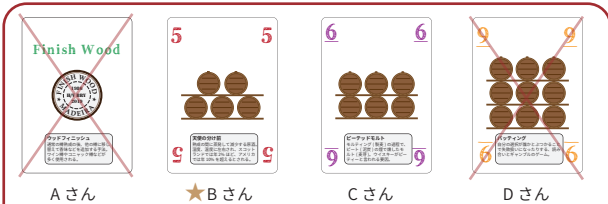
- ・原酒がVatに収まる(原酒の合計 ≤ Vatの容量)場合



① **誰かがフィニッシュウッドカードを出している場合、そのプレイヤーは、酒量が最大のカードを受け取り、自分のものにします。**
今回、Aさんがフィニッシュウッドカードを出しているため、AさんはDさんの9をもらいます。

② **酒量が最大の原酒カードを持つプレイヤーが、ラウンド勝者となります。**
フィニッシュウッドカードの効果によって、Aさんが最大のカードを持った状態になっているため、Aさんがラウンド勝者となります。

- ・原酒がVatからあふれる(原酒の合計 > Vatの容量)場合



① **フィニッシュウッドカードは無効となり、捨て札にします。**
今回、Aさんがフィニッシュウッドカードを出しているため、Aさんはカードを捨て札にします。

② **Vatの容量以下になるよう、最大のカードから順に捨て札にします。**
最大のカードは9なので、Dさんは9を捨て札にします。
場の合計は11となり、Vatの容量(19)に収まるため、5と6の2枚は残ります。

③ **酒量が最小の原酒カードを持つプレイヤーが、ラウンド勝者となります。**
最小のカードは5なので、5を出したBさんがラウンド勝者となります。

- ・残った原酒が0枚、またはフィニッシュウッドのみの場合

バッティング判定の結果、**カードがすべて捨て札になってしまった場合や、フィニッシュウッドカード1枚だけになった場合**、そのラウンドは**勝者なし**です。
残ったフィニッシュウッドカードは裏向きで捨て札にします。

3. Vatの獲得

ラウンド勝者は、場に出ているVatを獲得します。
獲得する際は、カードを裏向きで自分の前に重ねて置きます。

勝者がいない場合、獲得は次のラウンドに**持ち越**されます。
この場合、次のラウンドの勝者が、そのラウンドのVat獲得時に、**持ち越されたVatを追加で獲得**します。
これが最終ラウンドであれば、持ち越されたVatは誰も獲得できません。

4. 原酒の獲得

残った原酒カードは、出したプレイヤーがそのまま獲得します。
獲得する際は、カードを裏向きで自分の前に重ねて置きます。
Vatと分けて置く必要はありません。

Ⅳ. 勝利点の計算

獲得したカードの勝利点を合計します。

Vatカードは、カードに記載された勝利点を使用します。

原酒カードは、**酒量**がそのまま勝利点になります。フィニッシュウッドは0点です。

$2 + 5 + 8 + 9 + 0 + 8 = 32$

原酒は数字そのまま、このVatの勝利点は8、
フィニッシュウッドは0なので、結果は32点になります。

Ⅴ. ゲームの終了

2セット終了時点でゲーム終了です。

1セット目と2セット目の勝利点を合計し、**合計勝利点のもっとも高いプレイヤー**がゲームの勝者となります。

勝利点のもっとも高いプレイヤーが2人以上いる場合、**お互いに勝利を分かち合**います。